

火山噴火に対する防災気象情報の高度化対策【国土交通省】

- 施策概要**
- 効果**

火山噴火に対し、停電対策や通信の多重化等観測施設の機能強化を行うとともに、情報システムの更新等により防災気象情報を高度化
 停電対策や防災気象情報の高度化により、国民に火山噴火に対する情報を的確に伝え住民の避難行動や行政の防災対応を支援

気象庁

 火山噴火に対する防災気象情報の高度化対策

(1) 人命・財産の被害最小化
 (2) 交通・ライフラインの維持

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

全国的な対策と効果

<火山総合観測点の更新強化>

更新強化の進捗(年度ごとの実施数)

R3	R4	R5	R6	R7
0	3	1	3	4

(単位:火山)

老朽化している総合観測装置を更新し、停電対策を強化

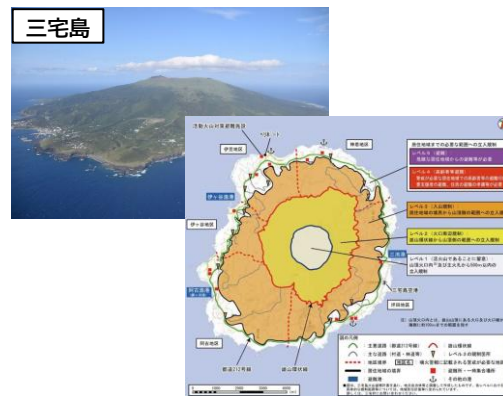
<火山活動評価の高度化>

噴火警戒レベルを導入した各火山において、新たな研究成果などを活用して、発生が予想される噴火に伴う現象及びその影響範囲を、地下のマグマや熱水の挙動を推定しながら評価するなど、火山活動評価を高度化し、その成果を噴火警戒レベルの判定基準に適用



※地理院地図をもとに気象庁作成

- リモートでの電源管理、機器の再起動の実施、バッテリー残量の把握等が可能に
- 災害時の停電が長期化した場合にもバッテリー交換等を実施することにより観測を継続し、噴火警報等、噴火に関する情報発表を継続



- 噴火時等に観測される地震の震源等を基に、山腹噴火を想定したレベル4、5における警戒が必要な範囲の考え方を整理し、判定基準等に反映するなど、火山活動評価を高度化

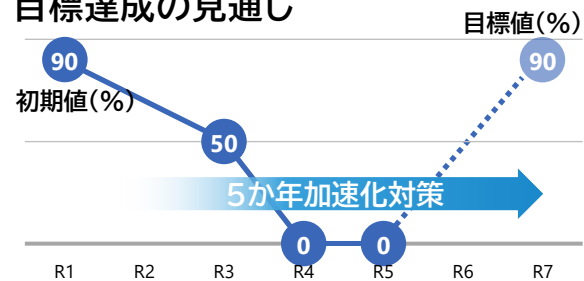
2 インフラの老朽化対策

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
-	5億円	2億円
R6	R7	累計
2億円	3億円	12億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



【KPI】火山噴火に対する防災気象情報の迅速な提供の実施率 (当該年度中に発表した噴火速報のうち、噴火発生から発表までに要した時間が5分以内である事例の割合 ※R6は該当事象なし)

(1) 施策のデジタル化

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化